

2022. Jan.
Reboot 3



アクセスページ

暮らりネット ClariNet

特集

2022年新年のご挨拶 ～コロナ禍を乗り越えた先に～

新たに循環器内科の先生が入職／訪問看護センターの新規OPEN



医療法人 徳洲会 古河総合病院

〒306-0041 茨城県古河市鴻巣1555番地 TEL 0280-47-1010 (代表)

<https://www.kogahosp.jp/>





多くのものを失い、 多くのものを得た1年

院長 福江真隆

あけましておめでとうございます。コロナ禍に明け暮れた2021年が終わり、新しい年を迎えました。昨年は新型コロナウイルスにより数え切れないほどのものを失いましたが、逆に得たものも多くあった1年だと思います。例えば「感染症に対する理解と予防」はその一つです。多くの方がワクチン接種を通じて意識・行動共に目に見えない伝染病に対する備えができつつあると感じています。2021年で受けた様々な悲しい出来事や心の傷を癒すために、わたしたちは一緒に前を向かなければならないと思います。感染症を正しく恐れ、今までの常識は本当なのか検証し、新たな常識の上で新たな人とのつながりを持つ、病院の役割をもう一度見つめなおす、改めて地域の皆さんとのつながりに感謝する、そして人間の作り出す社会や医療に絶対や完璧はなく、つながりを失うだけでもろくも崩れてしまうものだと知る。その上で当院は、今後も皆さまにとって安全で安心な場所であるために日々精進していききたいと思います。

1986年 筑波大学医学専門学群卒業

1986年 つくば大学附属病院勤務

1991-1993年 米國カリフォルニア大学

サンフランシスコ校 (UCSF)

心臓血管研究所(CVRI)留学

1993年 筑波記念病院外科部長

2001年 亀ヶ崎済生会病院外科部長

2004年 庄内余目病院副院長

2005年4月 三和記念病院副院長

2005年7月 古河総合病院院長就任

<専門>

日本外科学会、胸部外科認定医、

消化器外科認定医、外科専門医、

臨床腫瘍学会、米国生理学会



明るいニュースが少ない時は、 美味しい食べ物を！

副院長 門間英二

2022年も皆様が健やかに過ごされるように我々もサポートしていきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。さて、話は全く違いますが…寒くなってきましたね。この時期は鍋が恋しくなってきました。茨城だとあんこう鍋や鶏肉を用いた鍋が有名ですね。私の両親は秋田出身のため、毎年この時期は「きりたんぼ」の鍋を欠かさずいただいております。鶏肉の出汁のきいた、つゆにしみこんだきりたんぼと、だまこもち（団子にしたご飯）を舞茸とセリとともに食べる…そうすると心も体もポカポカになります。昔、厳しい寒さの中で、贅沢だっただろう米をさらに美味しくするアイデアを考えた先祖に思いを馳せています。明るいニュースが少なくなった今、美味しい食べ物の話が浮かびました。この冬も寒さに負けずがんばっていきましょう！

1997年 筑波大学医学専門学群卒業

1999年 筑波大学附属病院 呼吸器外科

2003年 セントルークススルーズベルト病院

(コロンビア大学) 留学

2006年 古河総合病院 外科

<専門>

日本外科学会専門医、日本呼吸器外科学会、

日本肺癌学会、日本呼吸器内視鏡学会

日本救急医学会、臨床研修指導医



干支が暗示する 「コロナの収束」を願って

副院長 中村 敦

今年の干支は「壬寅(みずのえとら)」、十干が「壬」、十二支が「寅」です。「壬」はもともと金敷を表し、「支え」や「担う」という意味を持ちます。「寅」は「蟻(いん)」で動きを表し、春が来て草木が生ずる状態を表しているとされます。これは今年こそコロナ禍が収束する事を暗示していると思えてなりません。とはいえ、いまだ新型コロナウイルスの感染拡大は終息を迎えていない状況です。当院は地域医療を担う一医療機関として、コロナが収束する日まで院内感染やクラスター発生を予防する様々な感染対策を継続せざるを得ない状況です。来院される多くの方々にご不便をおかけしておりますが、おかげさまで昨年度は安定した医療を提供することができました。これも偏に皆さまのご理解ご協力によるものであり、大変感謝しております。当院は、「生命だけは平等だ」の理念の下、「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会」を目指し、引き続き皆様のニーズに応えた医療を提供できるように努めてまいります。

1997年 明海大学卒業

<専門>

日本歯科口腔外科学会

歯科麻酔学会



今年も地域の病院として より良い医療・看護を

看護部長 西ヶ谷正子

昨年は新型コロナウイルスの対応に追われ、当院でも5床のコロナ対応ベッドで患者様の受け入れをしてきました。中には人工呼吸器の装着となる患者様もあり、不安でいっぱいだったと思われましたが、その都度看護師は患者さんの思いを受けとめながら関わらせて頂きました。その後すべての患者さんは回復して家に帰ることができ、本当に良かったと思っております。現在は患者数0名となり、クラスターの発生もなく、感染防止に努めて患者さんに対応できたことは私たちの誇りです。地域の皆様にはまだ面会制限などご不便をおかけしておりますが、入院生活が徐々に通常となるよう努力していきます。2月から更に3回目のコロナワクチン接種も始まりますが、安全に実施できるよう準備しております。今年も地域の病院として、より良い医療・看護の提供を目指して頑張っていきます。



これからも一丸となって、 患者様に安心・安全を

事務長 堀井勝徳

昨年は当院として、特に新型コロナウイルスの対応に奔走した1年でした。ピーク時には当院の感染病床が満床になり、発熱外来でのコロナの検査は日に50人を超す日が何日も続き、またコロナワクチンの接種も古河市の依頼により、2万回弱の接種を行うなど、地域の病院としての務めを果たす日々でした。また、一昨年は経営も厳しい状態もありましたが、直近では以前と変わらない患者様の数を診療させていただいています。これも患者様が当院に対して安心・安全であると思っただけだと思っています。新しい年になり、コロナウイルスもこのまま収束してくれることを願いつつ、これからも職員一同安心・安全に患者様を診療していけるよう努力してまいります。



<NEW TOPIC 1>

新しく循環器科に入職した安藤先生を紹介！

循環器内科 安藤俊夫

循環器内科に着任した安藤と申します。臨床研修修了後の7年間、虚血性心疾患（狭心症および心筋梗塞）、心不全の治療を行ってまいりました。2020年の厚生労働省の死因統計においても心疾患（高血圧症を除く）は癌に続く第2位とされ、中でも急性心筋梗塞は約20人に1人が亡くなるという恐ろしい病気です。この病気を未然に防ぐ、または早期に治療して救命に結び付けることが循環器内科医の使命の一つだと信じております。

自分のモットーは患者様とご家族様に「わかりやすく」説明することです。近年のインターネットと同様、医学も略称や英語による呼称などの専門用語だらけですので、なるべく日常で使用している言葉に置き換えて説明するよう心がけております。周囲の方々と協力して自分の実力を発揮できるよう頑張りますので、何卒よろしくお願い致します。

2011年 日本大学医学部卒業

<専門>
日本内科学会認定内科医

入院～退院まで、患者様を一貫してサポート！ 古河総合病院のリハビリテーション科について

Q1. リハビリテーション科とは、どのような役割を担う場所？

患者さんがリハビリテーション（社会復帰）するためのサポートをする部署のひとつです。リハビリテーション科で働く理学療法士・作業療法士・言語聴覚士は、他職種（医師・看護師・ソーシャルワーカー等）と連携を図りながら、患者さんがリハビリテーション（社会復帰）できるようにサポートしています。



Q2. 具体的にどんなサポートが受けられるのか？

患者さんによって症状や障害が異なるため、患者さんの状態に合わせて【身体を動かす】・【動作をする】・【行動する】・【作業を行う】・【頭で考える】・【食べる】・【話す】などの運動や練習を行っています。

Q3. 患者様へのメッセージ

リハビリテーションとは、病気や怪我により障害をもった方がその人らしい生活が送れるようにしていく（社会復帰）ことを意味しています。患者さんがリハビリテーション（社会復帰）するために、心身ともに可能な限りのサポートをしていきますので、どうぞよろしく願いいたします。

<NEW TOPIC 2>

2月1日新設 「訪問看護ステーション」 所長によるご挨拶

2022年2月1日に院内に新規開設する「古河徳洲会訪問看護ステーション けやき」所長の藤村と申します。地域で暮らす誰もが、心身と向き合いながら住み慣れた自宅や安心できる場所で穏やかな療養生活を過ごしたいと望んでいます。そのなかで、高齢者への介護不安や疾患への医療不安に寄り添い、専門性の高い知識と熟練技術で安心をお届けすることが、私たち訪問看護師の役割と考えております。古河総合病院で多くの経験を積んだ看護スタッフが、「その人らしさ」を全力でサポートしていきますので、お気軽にご相談いただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

